

中学生が 財務大臣となって予算編成！ ～ in 栗国中学校～



財務部では、小中学校、高校向けの出前授業として、タブレット等を活用した予算編集シミュレーションなど、アクティブラーニングを取り入れた「財政教育プログラム」を実施しています。今号では、10月26日、栗国中学校1～3年生（14名）を対象に行った出前授業をご紹介します。

（自分の将来のために） 日本の未来について考える

授業の前半は、「（自分の将来のために）日本の未来について考える」と題し、身近な公共サービスや公共施設を説明し、これらを支えるための会費として税金や保険料が必要であること、少子高齢化など日本の現状についても説明しました。

財務部職員による寸劇では、日ごろから体を鍛えた健康な人と、不摂生な生活習慣によって病気がちな人が、予算の使い道を議論する様子を演じ、様々な意見があること、意見をまとめるのは難しいことを生徒たちにイメージしてもらいました。

予算編成シミュレーション

授業の後半は、生徒達が財務大臣になったつもりで、予算編成に取り組みました。生徒達のチームワークの良さ、素直さもあり、社会保障費などの歳出は、どの分野を充実させ、又は抑制させればよいかなど、活発に意見が交わされ、

生徒達の熱意に打たれた先生たちが議論に加わる様子も見られました。

グループ毎の発表では、「酒税やたばこ税を増税し、不健康になる人を減らし、社会保障費の減少につなげる」、「地方交付金を少し減らすことで、自治体自ら、もっと努力しようという気持ちになるのでは」、「教育や科学技術などの分野に力を入れ、外国に負けない日本にしたい」といった多種多様な意見があり、財務部職員も刺激を受ける機会となりました。



財務部職員による財政授業の様子



グループワーク(予算編成)で議論する生徒たち

生徒たちからの声

生徒たちからは、「財政について興味を持った」「今の日本の問題、税金の仕組みについて寸劇をとおして詳しく学ぶことができた」「財政について難しく考えていたが、楽しく学ぶことができた」などの感想がありました。

財務部では、今後も教育機関と連携し、若年層に向けた出張授業を実施していく予定です。



寸劇で生徒のハートをつかんだ瞬間??



ご協力いただいた栗国中学校の先生・生徒の皆さんとともに

お問合せ先

財務部 財務課（地域連携担当）
098-866-0091